

2020年度

事業報告書

自 2020年4月1日
至 2021年3月31日

公益財団法人 佐賀県国際交流協会

心の国境をなくそう！ Free your heart of borders!

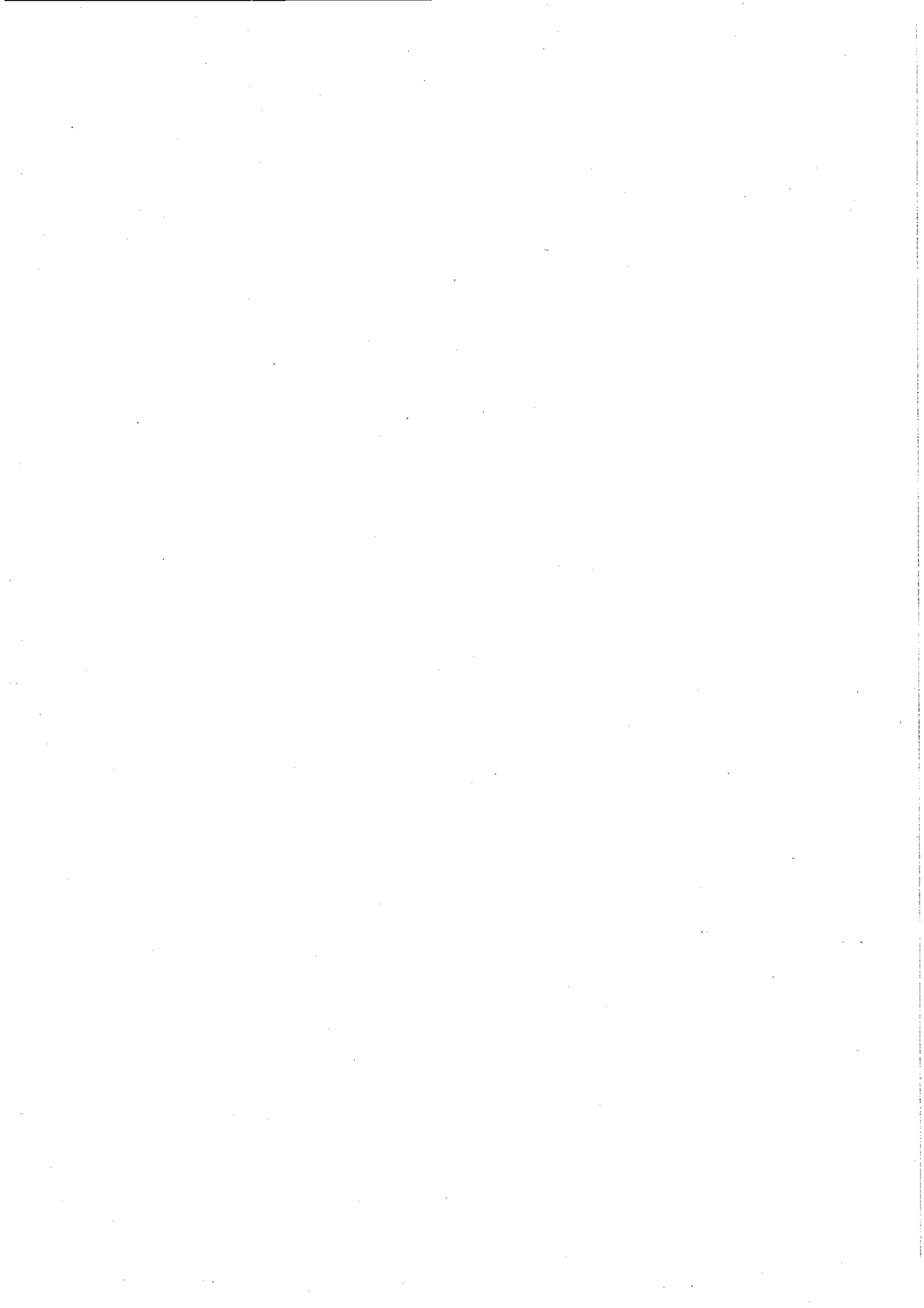
Saga
Prefecture
International
Relations
Association

佐賀県国際交流協会年報

2020年度事業



公益財団法人 佐賀県国際交流協会



CONTENTS

- 02 協会概要
- 03 役員名簿
- 04 事業年表
- 05 事業実績

A コミュニケーション支援

- 05 国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）
- 05 情報収集・提供
- 05 日本語教室支援
- 06 日本語教師養成講座助成
- 06 外国人による日本語スピーチコンテスト
- 06 「やさしい日本語」啓発セミナー

07 B 生活支援

- 07 在住外国人生活支援
 - 生活相談、専門家相談
 - 健康相談
 - 医療通訳
- 08 子ども日本語学習サポーター等派遣
- 09 多文化防災セミナー

10 C 多文化共生の地域づくり

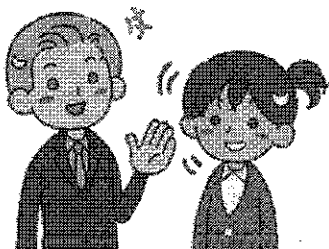
- 10 国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）
- 10 地球発見隊出前講座
- 11 ボランティア啓発・推進
- 12 多文化共生等助成事業
- 13 さが国際フェスタ
- 14 多文化共生情報発信事業

14 その他の協会事業

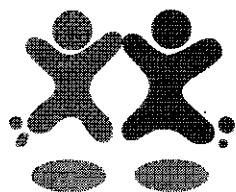
- 14 創立30周年記念事業
- 14 インターンシップの受入
- 15 さが多文化共生センター

16 賛助会員

- 16 賛助会員募集



公益財団法人 佐賀県国際交流協会の概要



Saga
Prefecture
International
Relations
Association

SPIRAのシンボルマーク「手をつなぎ、楽しくコミュニケーションする人と人。緑は佐賀平野、赤はお互いの熱意、青は世界に広がる海のイメージです。」

公益財団法人佐賀県国際交流協会は、世界に開かれた佐賀づくりをめざして、県、市町村、民間企業、県民の方々の協力により、県民総参加の国際交流を推進するための中核組織として1990年（平成2年）2月7日に設立され、2013年（平成25年）4月1日に公益財団法人となりました。

そして今年度、設立から30周年の節目を迎えることができました。これもひとえに、長きに渡り当協会の事業にご支援・ご協力いただいた皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

佐賀県には、2021年（令和3年）1月1日時点で7,031人の外国人が生活しており、2016年（平成28年）には全国1位の増加率を記録するなど、ここ数年で大きく増加しています。

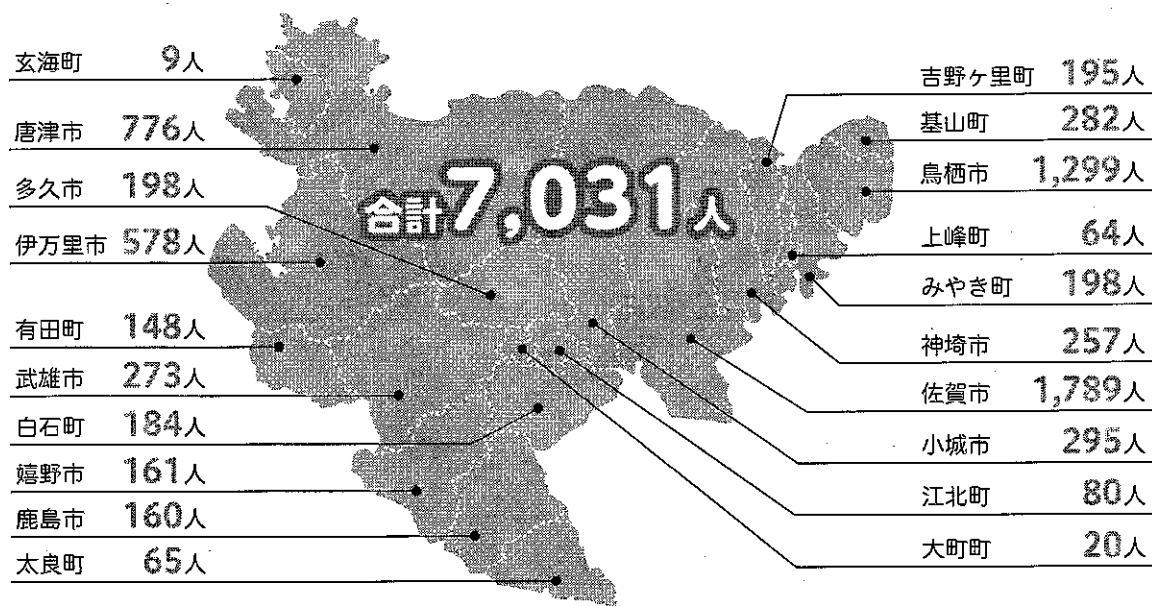
このような中で、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていく、いわゆる「多文化共生」の地域づくりが求められています。

また近年、全国的に自然災害が多発する中、地域の自助力、地域住民の連携が見直されています。佐賀県が国籍を問わず万人にとって安全で住みよい場所となるよう、当協会も多文化共生の地域づくりに全力をあげてまいります。様々なセミナーやイベント等を通し、在住外国人と県民が同じ地域構成員として、協働・協力体制を築いていけるよう、取り組んでいきたいと思っています。

これからも民間団体等と連携・協働し、日本語教室や医療通訳サポーターの派遣など、多文化共生事業を一層進めていきたいと考えていますので、皆様の温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

佐賀県内外国人住民の数（市町別）

※2021年1月1日現在佐賀県国際課調べ



役員名簿

2021年3月末日

評議員 [12名]

役職名	氏名	団体名・職名
評議員	寺本 憲功	国立大学法人佐賀大学 国際交流推進センター長
評議員	峰 英太郎	佐賀県商工会連合会 会長
評議員	江島 秋人	佐賀県中小企業団体中央会 専務理事
評議員	古賀 孝博	佐賀県農業協同組合中央会 専務理事
評議員	中島 博文	一般社団法人佐賀県建設業協会 専務理事
評議員	井手 雅彦	一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会 理事長
評議員	高島 忠平	公益財団法人佐賀県芸術文化協会 理事長
評議員	山口 七重	佐賀県地域婦人連絡協議会 会長
評議員	白濱百合子	佐賀生活文化交流会 代表
評議員	西岡 豊	佐賀県高等学校PTA連合会 会長
評議員	前島 梅子	日本語ネットワーク佐賀 代表
評議員	井崎 和也	佐賀県地域交流部国際課 課長

理事 [13名]

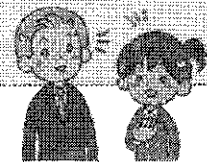
役職名	氏名	団体名・職名
理事長	黒岩 春地	佐賀県国際交流協会 事務局長兼務
副理事長	南里 隆	佐賀県地域交流部 部長
副理事長	横尾 俊彦	佐賀県市長会 理事
副理事長	伊東 健吾	佐賀県町村会 理事
副理事長	古園 裕久	佐賀県商工会議所連合会 専務理事
理事	青木 勝彦	佐賀県教育庁 副教育長
理事	川寄 和正	佐賀玄海漁業協同組合 組合長
理事	江打 正敏	佐賀ユネスコ協会 会長
理事	中尾清一郎	株式会社 佐賀新聞社 社長
理事	泉 俊彦	株式会社 サガテレビ 会長
理事	中島 章夫	一般社団法人佐賀県観光連盟 専務理事
理事	吉田 健	JETRO 佐賀事務所 所長
理事	大野 博之	特定非営利活動法人地球市民の会 副理事長

監事 [2名]

役職名	氏名	団体名・職名
監事	江副 元喜	佐賀県市長会 事務局長
監事	宮崎 珠樹	佐賀県商工会連合会 専務理事

事業年表

2020 6.23~3.2	ランチタイム English Seminars (全7回)
6.9	(公財)佐賀県国際交流協会2020年度 第1回理事会
6.26	(公財)佐賀県国際交流協会2020年度 第1回評議員会
7.28~8.6	日本語ボランティア研修会 (全2回)
10.1~10.31	2020さが国際フェスタ月間
10.4	さが国際フェスタメインイベント in 神埼
10.11	第5回 外国人による日本語スピーチコンテスト
10.24	ハロウィンであそまなぶ
11.7	多文化防災セミナー【体験型】(佐賀大学)
11.14	(公財)佐賀県国際交流協会創立30周年記念式典
12.5	在籍外国人のための無料健康相談会
12.6	多文化防災セミナー(小城市共催)
2021 1.16~1.30	医療通訳サポータースキルアップ講座(全3回)
2.1~2.28	「やさしい日本語」普及・啓発月間パネル展
2.6~3.11	子ども日本語学習サポーター養成講座(全5回)
3.24	多文化共生セミナー「イスラムの文化を知ろう」第1回実施(全3回)
3.25	(公財)佐賀県国際交流協会2020年度 第2回理事会



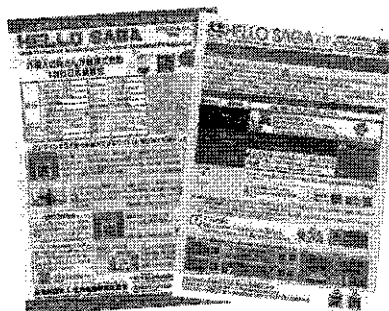
A コミュニケーション支援

国際交流・協力情報誌発行(外国人向け)

佐賀での生活に役立つ情報や、県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、情報の提供を行いました。

全カラー2ページ2,500部 年2回発行

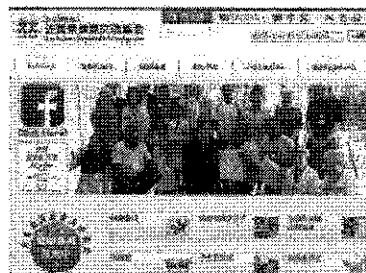
配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体、教会、エスニック料理店等



情報収集・提供

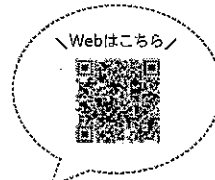
インターネット・メールやホームページ等で情報提供を行いました。イベント情報などの更新を随時行い、常に新しい情報を提供できるように整え、必要に応じて佐賀県発信の情報を多言語で配信しました。

また、Facebookを活用し、さまざまな多文化共生に関する情報や外国人住民に有益な情報を素早く届けることができました。



日本語教室支援

外国人住民のコミュニケーション支援、多文化共生の地域づくり、生活者支援を目的として、地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援しました。



県内の日本語教室

市町	グループ名	市町	グループ名
佐賀市	にほんごすいもく 水ようび	唐津市	唐津日本語教室
	にほんごすいもく 木ようび		にほんご晴
	どようび日本語 in SAGA	伊万里市	日本語教室いまり
	日本語ネットワークSAGA	武雄市	たけお日本語教室
	こんにちワークSaga	鹿島市	かしま日本語教室
	国際コミュニケーションネットワークかけはし	白石町	しろいし Wa!Wa!Wa!
	外国人のための日本語サークルラポール	嬉野市	カフェこくさいじん
基山町	きやまくらしのにほんごひろば「あみいご」	鳥栖市	とすにほんごひろば～とりんす～
小城市	おぎ日本語教室	有田町	日本語教室 in Arita
多久市	多久日本語教室		

(2020年度補助金交付実績 10団体)

日本語教師養成講座助成



外国人住民の受入基盤整備の一環として、日本語教師養成講座受講費用の一部を助成しています。今年度は5名の方に助成金を交付しました。

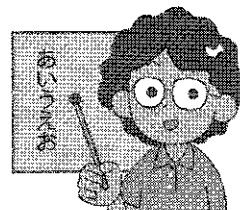
また、当助成金受給者も含め広く県民を対象に日本語ボランティア研修会を実施しました。

※本事業は2021年3月31日をもちまして終了となりました。

日本語ボランティア研修会



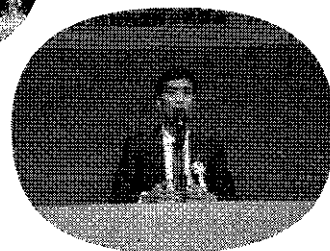
- ①2020年7月28日 9:00~12:00
- ②2020年8月6日 14:00~17:00
- オンライン (zoom)
- ①SPIRA職員
- ②文化庁国語課 地域日本語教育推進室専門職 北村 祐人氏
- ①22名、②30名



第5回 外国人による日本語スピーチコンテスト



佐賀市、佐賀市国際交流協会との共催により開催。青少年部門4名、成人部門14名、計18名の日本語学習者が日頃の成果を発表する貴重な機会であると同時に、佐賀県民と外国人住民の相互理解・交流が促進され、双方に新たな視点を与える機会となりました。



「やさしい日本語」啓発セミナー



外国人とのコミュニケーションに有効なツールの一つ、やさしい日本語。協会ではその「やさしい日本語」の普及・啓発に努めるために、SPIRA職員による「出前講座形式」で開催していましたが、コロナ禍で対面での講座の実施が難しい時期でも、できるだけ多くの人に「やさしい日本語」の普及を図るために、各地でパネル展を開催しました。

また、各市町にも展示会の声掛けをし、小城市、佐賀市では、役所のホールでの展示、他にも市内の公共スペースなどで展示をし、訪れた方に「やさしい日本語」の有効性や、使い方等について知ってもらうことができました。

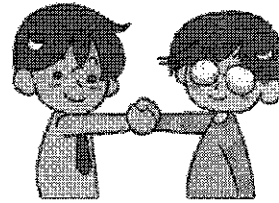
【パネル展示】

- ・ 2月1日~2月28日 佐賀商工ビル1F
- ・ 2月17日~2月28日 小城市役所 1Fロビー
- ・ 3月11日~4月11日 佐賀商工ビル7F 市民活動プラザ
- ・ 3月12日~3月24日 佐賀市役所 1Fロビー



B 生活支援

在住外国人生活支援



生活相談、専門家相談

生活相談・専門家相談については「さが多文化共生センター」p.15をご覧ください。

健康相談

済生会唐津病院の協力を得て、健康面や医療制度・手続きに関する外国人住民の相談会を開催しました。例年、年に3回ほど実施しておりますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回のみ実施しました。

- 12月5日(日)10:00~12:00
- 2名
- 佐賀市

医療通訳

外国人住民の医療面に関する支援として、「医療通訳サポーター」を保健・医療機関等（4箇所）へ延べ34件（うち英語30件、中国語1件、フランス語3件）派遣しました。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回目の緊急事態宣言発令期間2020年4月16日~2020年5月15日※、および2020年8月18日~2021年3月31日の間、医療通訳サポーターの派遣依頼受付および派遣を中止しました。

また、医療機関に働きかけて、多言語通訳コールセンターの案内と一層の利用を促しました。

※4月16日以前に依頼があった当該期間中の派遣については、通訳サポーターの同意を得られた場合にのみ派遣。

医療通訳サポータースキルアップコース

2021年1月16日~1月30日（全3回）オンラインで実施

第1回 倫理・知識

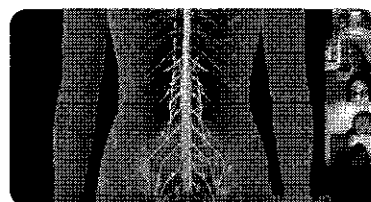
- ・医療通訳としての心構え 全国医療通訳者協会NAMI 森田直美氏
- ・妊婦健診の流れ 佐賀県医療センター好生館 俵由里子氏
- ・佐賀市の幼児健診 佐賀市役所 塚原里美氏

第2回・第3回 実技演習

- ・英語 MICかながわ 松尾圭子氏、田中圭氏
- ・韓国語 MICかながわ 斉田麻衣子氏
- ・中国語 北京・ニーハオ中国語センター 蔣晶氏

第1回 19名、実技演習 第2回 英語8名、中国語3名、韓国語1名

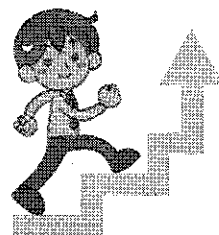
第3回 英語7名、中国語2名



子ども日本語学習サポーター等派遣



県内の小中学校に通う外国につながる児童生徒及びその保護者、学校関係者を対象に、子ども学習支援サポーターを派遣しました。学校からの依頼に応じて、当協会のボランティア登録者からサポーターを選定し、県内の小学校、中学校で日本語指導や通訳としてご活躍いただきました。



活動内容

- ①子ども日本語学習サポーター：児童生徒本人に対する日本語指導や学習のサポート
- ②子ども通訳・メンタルサポーター：児童生徒本人やその保護者と学校間での通訳・母語でのメンタルケア

2020年度 派遣実績

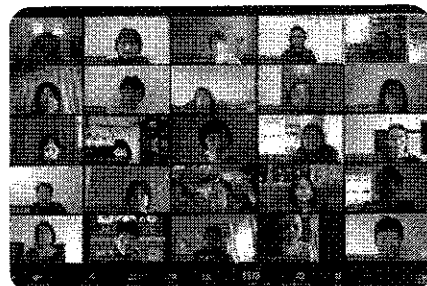
子ども日本語学習サポーター	32件 (701時間)	小学校17校、中学校8校
子ども通訳・メンタルサポーター	14件 (20.5時間)	小学校6校、中学校4校

子ども日本語学習サポーター養成講座

2021年2月6日～3月11日(全5回) オンラインで実施

第1回

- 多文化共生と外国につながる子どもたちの現状と課題
- 2月6日(土) 9:00～12:00
- 多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏
久留米大学 日本語講師 ディヌーシャ ランブクピティヤ 氏
- 30名 (オブザーバー含む)



第2回

- 佐賀県の子ども支援の仕組みや指導前の準備
- 2月17日(水) 10:00～12:00
- 佐賀県教育振興課 吉原 正 氏、SPIRA
佐賀県日本語学習支援“カスタネット” 早瀬 郁子 氏
- 23名



第3回

- 教科学習につながる日本語指導とは
- 2月24日(水) 10:00～12:00
- 東京学芸大学 教授 齋藤 ひろみ 氏
- 23名 (オブザーバー含む)

第4回

- 日本語学習支援の方法～指導案の作り方から～
- 3月3日(水) 10:00～12:00
- 佐賀県日本語学習支援“カスタネット” 早瀬 郁子 氏
- 20名 (オブザーバー含む)

第5回

- 実践例から学ぶ指導法
- 3月11日(木) 10:00～12:00
- とよなかJSL 田中 薫 氏
- 24名 (オブザーバー含む)

多文化防災セミナー



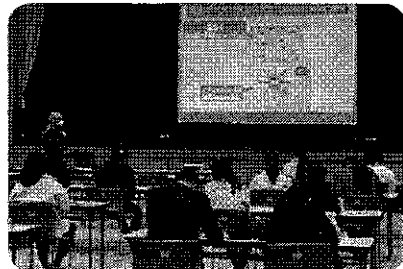
災害時、母国との災害の違いや、言葉の問題などから、災害時要支援者と言われる外国人。SPIRAでは、外国人住民に日本で起こる災害について理解を深めてもらい、いざ災害が起こった時にも自分で自分の身を守り（自助）、適切な行動（避難等）に繋がられるよう、防災について学ぶセミナーを開催しています。

防災セミナーでは、災害の基礎知識に加え、避難所や防災グッズについて学び自分で非常食（アルファ米）を作って試食したり、また消火器訓練や煙体験など、実際の体験を通じて防災について学ぶ機会を提供しました。

- 2020年11月7日（土） 9：00～12：00
- 会場 佐賀大学 菱の実会館
- 参加者 佐賀大学留学生
- 人数 15名
- 主催 佐賀大学、佐賀広域消防局、日本赤十字社佐賀県支部



- 2020年12月6日（日） 9：30～12：30
- 会場 小城保健福祉センター
- 参加者 技能実習生
- 人数 50名
- 会場 小城市
- 主催 ワタキューセイモア㈱、日本赤十字社佐賀県支部



外国人とともに取り組む!! 「災害対応ガイドブック」作成

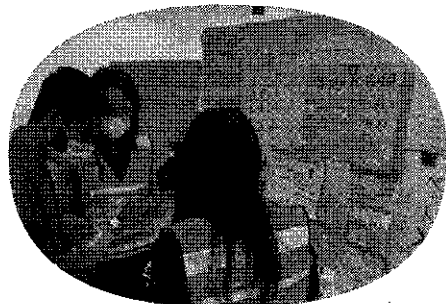
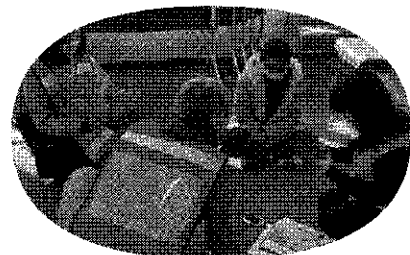
2019年度に（一財）自治体国際化協会（CLAIR）の助成を受けて作成した災害時における外国人対応（配慮）をまとめた日本人向けのガイドブックについて、2020年度は、コロナ禍で人を集めての講座の開催ができませんでしたが、自治体国際化協会（CLAIR）の全国優良事例集に掲載されたり、JIAM（全国市町村国際文化研修所）の研修で、取り組み紹介を行う機会をいただいたりと、全国的な広がりがありました。

災害多言語支援センター設置・運営訓練

佐賀県と設置協定を締結している「佐賀県災害多言語支援センター」について、佐賀県国際課と合同で設置・運営訓練を実施しました。災害多言語支援センターでは、災害時に、外国人に向けて必要な情報を多言語発信したり、行政や避難所から要請があれば避難所を巡回し、避難している外国人から困りごとを聞き取り必要なサポートを行っています。

今年は、避難所巡回訓練を行い、避難所に避難してきた外国人に翻訳機を使っての聞き取りや、掲示板に書かれている内容を伝えるなど外国人の不安に寄り添った対応を心掛け、いざというときに必要な対応について確認をしました。

- 2021年3月23日（火） 8：45～12：00
- 会場 佐賀商工ビル 大会議室
- 参加者 外国人住民 9名
（国籍：ベトナム、韓国、インドネシア、フィリピン、ネパール、パングラデシュ）



C 多文化共生の地域づくり

国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）



県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報、国際交流・協力を実践している県内の国際交流団体の紹介、各種研修会のお知らせ等を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、国際交流・協力に関する情報の提供を行いました。

全カラー4ページ 2,500部 年3回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体等

地球発見隊出前講座



多文化共生理解出前講座（外国人講師）

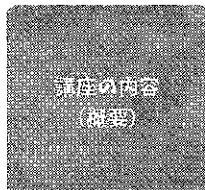
国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、留学生、県内外国人住民の方を講師として派遣し、さまざまな国の歴史や文化を学び交流を深め、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	32件
派遣講師数	39名（延べ）
受講者数	1,485名

佐賀県立唐津商業高等学校

ドイツ

20名

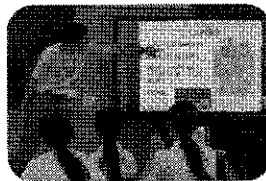


唐津商業高等学校は、現在、商業科目「課題研究」の中で「国際交流」をテーマに活動している。

今回の講演では、実際の交流の中で感じる異文化コミュニケーションに焦点を当て、異文化理解に必要なことを具体的に講師の先生にお話し頂き、生徒達は改めて異文化理解の難しさを知ると同時に何を意識して交流を行うべきかを考えることができた。また、他国の文化を知ることにより、改めて当たり前だと感じていた自国の文化や生活について振り返ることもできた。特に、同世代であるドイツの高校生活についての興味関心度が高かった。

今回の講演会を通して、多言語を学習することによって得られる素晴らしい経験を知り、さらに語学学習や課題研究に対する意欲が高まったように思われる。

- 講師の自己紹介
- 日本への留学経験発表
- ドイツの土地や文化、食事について
- ドイツにおけるコロナウイルスの現状
- 異文化理解に大切なこと
- 質疑応答
- 日本とドイツを比較した発明クイズによるアクティビティ
- ドイツでは保育園から大学まで学費が無料ということに驚きました。
- 今までドイツのことを知らなかったけど、もっとドイツのことを知ろうと思いました。
- 日本で当たり前だと思っていたことが、海外では当たり前でないことを知った。これからはもっと感謝して生活しようと思いました。



多文化共生理解出前講座（SPIRA職員）

市役所や町役場、民生委員協議会を対象に、県内外国人住民の現状、やさしい日本語など多文化共生社会づくりを目指すために必要なことをSPIRA職員を講師として実施しました。

派遣件数	8件
派遣講師数	8名（延べ）
受講者数	172名

佐賀市役所

自治会長30名



災害対応ガイドブックが完成したこと、近年地域でも外国人住民が増えてきていること、近年大規模災害の発生頻度も多くなっていることから講座(説明)を依頼。災害時における外国人への対応について協会が作成したガイドブックに沿って説明をしてもらった。やさしい日本語や、いざというときに助け合えるよう普段から外国人とも繋がりを持つ(顔の見える関係を築く)ことも重要であるということが分かった。普段外国人と接することがない人や、地域で外国人が増えている地区の人の双方にとって学びとなった。

● 災害時における外国人への対応について、知ることができた。地域にも外国人が増えてきており、外国人を視野に入れた災害対応の必要性を感じている。今回のガイドブックを各地域の地区長にも配布し、外国人対応についての理解を講座等を通して広めていきたい。

国際協力理解出前講座（日本人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、県内CSOの海外経験豊富な日本人の方を講師として派遣し、それぞれの国での活動体験や日本との違い等を学び、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	5件
派遣講師数	5名(延べ)
受講者数	507名

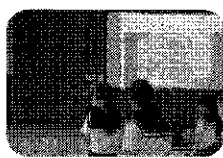
唐津市立西唐津中学校

認定NPO法人 地球市民の会 70名

講座の内容
(概要)

受講者感想(抜粋)

- 開会
- 校長先生より（あいさつ、講師の先生の紹介）
- 講演「みんなで考えようSDGs」
- 質疑・応答
- お礼の言葉
- 閉会
- SDGsについて話を聞いてくださったのは2030年より未来を生きるということで、二酸化炭素を減少させる取り組みなどをして良い環境になった地球を目指したいと思いました。気候変動や格差から地球を守っていききたいです。みんなで同じ目標を目指して取り組むことでみんなの意識や生活が変わると思います。これから自分にできることを考え、すみやすい地球にしていきたいです。
- 今日の講話の中で、僕は17個の目標を聞いて、この取り組みはこれからの社会に必要なと思いました。唐津は海に近くて、海をよく見るけど、いつもゴミがたまっていたり汚れていてきたないです。でもSDGsの取り組みがみんなできるようになったら、海もきれいになって住みやすくなると思います。そして、外国の貧しい人たちがちゃんとした生活を送ってもらえるように自分もSDGsに取り組みたいです。



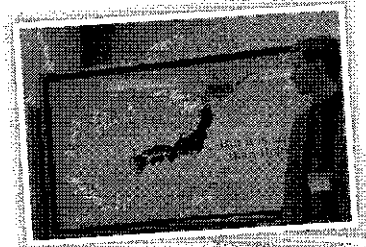
ランチタイムEnglishセミナー



毎年大人気の英語セミナーです。今年は佐賀県国際交流員オランダ出身のマルティネスルッテさんを講師に迎えて、多様な視点でオランダについて話していただきました。また、今年はコロナ禍でランチの持ち込みをなしにして開催したり、オンラインにて配信したりする等、開催方法を工夫しながら開催いたしました。

2020年6月23日～2021年3月2日（全7回）

- マルティネスルッテさん
(オランダ出身/佐賀県国際交流員) 6回
- アルマンタス ヴイトカウスカスさん
(リトアニア出身/インターンシップ生) 1回



ボランティア啓発・推進



ことば多言語、医療通訳、ことば日本語、子ども支援、ホストファミリー、の5つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者のメールアドレス等を管理し、情報を提供しました。各種イベント、日本語指導や医療現場での通訳等、地域外国人住民の方々への支援に協力していただきました。

ボランティア登録者数（2021年3月31日現在）

ことば多言語	188名
・うち医療通訳	36名
ことば日本語	134名
・うち子ども支援	47名
ホストファミリー	62家庭

【登録者数 合計 延べ467名】

多文化共生等助成事業

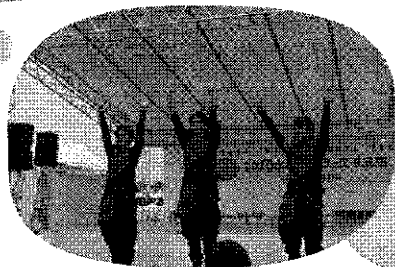
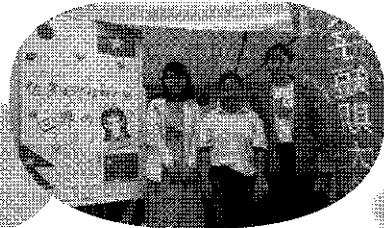
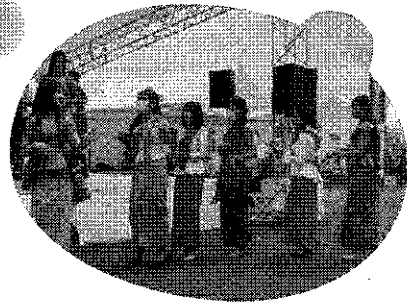
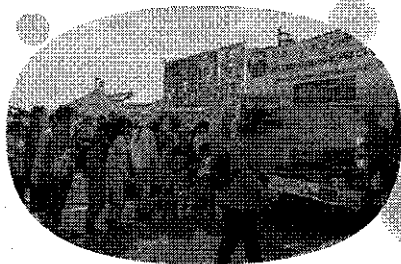


県内の民間団体が行う事業の振興を図り、本県の国際化推進、多文化共生の推進に資するため、事業経費の一部を助成金として交付しました。「多文化共生事業」「国内での国際交流事業」「海外での国際交流事業」「国際協力事業」の4分野で活動した県内6の民間団体に対して、助成しました。

分野	実施主体	事業
多文化共生	佐賀県外国にルーツを持つ生徒交流を支援する会	<p>「さが わーるどびんご」</p> <p>外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者たちを対象に交流会の開催や生活の支援活動を行い、彼らが日本での生活をするための補助を通して地域のより良い共存社会の構築に寄与した。</p>
	唐津ボランティアガイド	<p>「来訪外国人に対する案内通訳者を育成する研修」</p> <p>唐津に来訪される外国人観光客を案内する時に必要な知識の取得や案内ルートの確認を目的に、唐津市南部地域の観光スポットにて実践型研修を行った。</p>
国内での国際交流	特定非営利活動法人地球市民の会	<p>「SDGs Academy SAGA」</p> <p>SDGsをテーマに、日中韓3カ国で2030年までにできるアクションを考えるオンライン交流会を実施した。コロナ禍ならではのオンラインによる開催で国際交流を促進するとともに、国際社会共通の目標について考える機会となった。</p>
	ICE-T	<p>「ICE-Tスポーツ交流会」</p> <p>武雄方面に住む外国人住民と地域住民と、スポーツを通して交流を深めた。</p>
	特定非営利活動法人愛未来	<p>「世界とつながるフェアトレードフォーラム in SAGA」</p> <p>フェアトレードとは何か？フェアトレードの世界的な取り組みやSDGsとのかかわりをわかりやすく佐賀県民の方々に知ってもらう機会となった。また、フェアトレード商品を通して、日常生活の中で私たちができる国際協力活動とは何かを考えさせられるフォーラムであった。</p>
	佐賀中国交流倶楽部	<p>「佐賀中国交流倶楽部の料理講習会の開催と国際交流」</p> <p>上海で日本語学習をしている日本語学校の生徒たちとオンラインで相互に国の代表的な料理の作り方を教え、作った料理を食べながらオンラインで交流会を行った。コロナで対面することができないが、画面越しで国際交流・異文化理解をすることができた。</p>

他、5団体より助成の申請がありましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催中止となったため、事業として助成できませんでした。

さが国際フェスタ



今年で23回目の開催を迎えた国際フェスタ。今年も活動の地域展開を図るべく、メインイベントを神崎市で開催しました。10月4日（日）のメインイベントでは、王仁博士顕彰公園の駐車場を貸し切り、多国籍料理ブース、異文化体験ブース、民俗雑貨販売、団体活動PRブース等、神崎市で活動をする国際交流・協力団体を中心に県内から38の団体の参加があり、日本人だけでなく多くの留学生にも参加していただきました。

当日は、日本人住民、外国人住民合わせて約1,400名もの来場があり、このフェスタをきっかけに、普段の生活ではなかなか触れ合う機会がなかった留学生と地域住民が触れ合う機会にもなり、地域住民と外国人住民の顔の見える関係づくりにも貢献できました。

また、月間を通して県内CSO団体による国際交流・協力に関するイベントが開催され、月間中は佐賀市内のみならず、今のコロナ禍でも開催できるオンライン形式でのイベントも開催されるなど、様々な国際交流・協力が盛んに行われ、異文化に触れる機会となりました。

県内国際交流・協力団体によるイベント（一部）

10/17
【土】

アフリカ難民と彼らの暮らし

特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)
カフェLIFT COFFEE

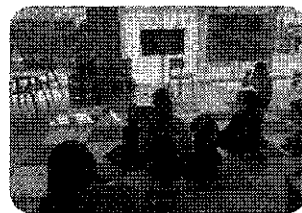


「難民」とひとづくりにできない、多様な側面を知ってもらえる機会になったと思います。佐賀の街中にある素敵なカフェを会場にしました。

10/24
【土】

子ども向けHalloweenであそまなぶ

佐賀県国際交流協会 (SPIRA)
国際交流プラザ

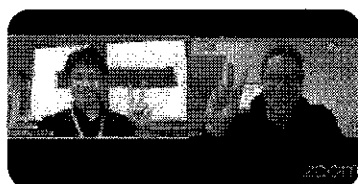


毎年恒例となっているHalloweenであそまなぶ！今年も30名近くの親子に参加してもらい、ハロウィンを満喫しました！

10/24
【土】

ホストタウン国の紹介～フィンランド編～

さがホストタウンおもてなしネットワーク
オンライン (FaceBook Live)



今回は元佐賀大学留学生の方に、フィンランド現地からフィンランドについて、生活習慣や食事、サウナなどのことを教えていただきました。佐賀のホストタウン相手国として、多くの選手がキャンプに来られる予定ですので、みんなで応援していきましょう！

多文化共生情報発信事業

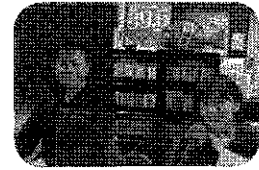


ラジオ放送（えびすFM）

多文化共生の地域づくりを促進するため、県内の外国人住民やボランティアをゲストに迎え、多文化共生に関するさまざまな情報をコミュニティFM（えびすFM）のラジオ番組により発信しました。

毎月第3水曜日 19:00~20:00 12回

SPIRA職員、県国際課職員、外国人住民、日本語教室ボランティア等



「SPIRAフォトコンテスト2020」

自分の周りで起こっている県内の国際化の現状を写真に収め、それらを広く知らせることで、多文化共生の意識がまだあまりない人たちにも、佐賀に外国人が増えていること、外国人と共に暮らすことを身近に感じてもらうことを目的に、広く県民から作品を募集しました。

2020年11月21日 佐賀県国際交流プラザ

計3か所（佐賀商工ビル、佐賀市立図書館、唐人まちなか美術館）



金賞受賞作品
撮影者：カルミナルイズムラカワさん
(メキシコ出身)

その他の 協会事業

創立30周年記念事業

1990年2月の設立から、2020年で30周年を迎えたことを祝い、11月14日（土）に記念式典を執り行いました。

第一部では、県内の個人や団体、地域日本語教室の皆様へ日頃の感謝の意を表し、記念品を贈呈させていただき、第二部では、NPOテラ・ルネッサンスの創設者 鬼丸昌也氏を招き、基調講演をしていただきました。

会場では、県内の外国人住民や県国際課のCIR（国際交流員）らによる「ワールド・カフェ」も開催し、世界のお茶や、コーヒー、お菓子を来場者にふるまい、多くの方に楽しんでもらいました。

また、30周年記念誌も作成し配布しました。

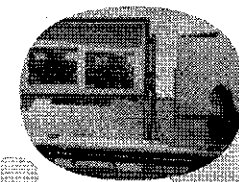


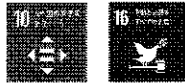
インターンシップの受入

インターンシップの受入れを行い、学生のキャリアビジョンのお手伝いをしています。各種研修会・イベントの準備や運営補助、翻訳作業、JICAデスク佐賀国際協力推進員や国際交流員との対談など、さまざまな業務に参加してもらい、国際交流・協力や異文化理解、多文化共生についての理解を深めてもらいました。

受入実績

学 校	実 施 期 間	参 加 人 数
佐賀西高校 (UWC Costa Rica留学中)	2020年7月27日~7月31日	1名
JICA海外協力隊 (一時帰国中)	2020年8月3日~8月27日	1名



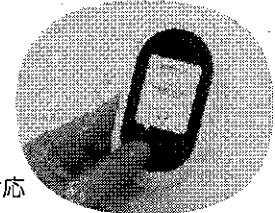


県からの委託を受けスタートした外国人住民に関する総合相談窓口「さが多文化共生センター」は、2020年10月30日に1周年を迎えました。専任の相談員が通訳者や専門家と連携のもと、対面・電話・メール等の方法を用いて相談対応しました。またホームページを開設したり、広報用動画を作成したりするなどして、情報発信の体制強化を図りました。

対面相談実施曜日

月	火	水	木	金
やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語
ベトナム語	ベトナム語	ベトナム語	ベトナム語	
	中国語	英語	韓国語	

その他の言語については多言語通訳コールセンターや翻訳機（ポケトーク）を利用して対応



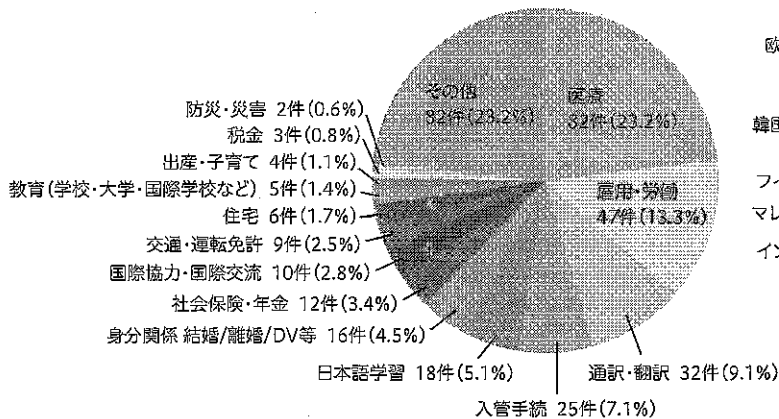
ポケトーク

生活相談

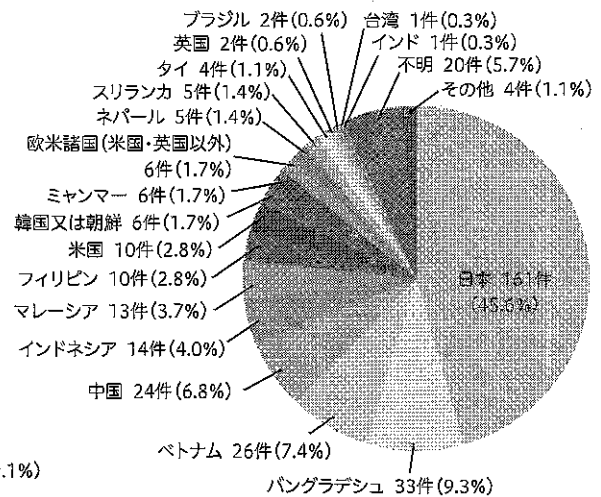
相談内容に応じて、情報提供を行うほか、当協会登録ボランティア、各市町、行政書士、民間国際交流団体等に引き継ぐなど、連携を図りながら対応しました。また、他県の地域国際化協会やCSO（市民社会組織）等民間団体と連携し、より良い解決方法について情報収集を図りました。

2020年度 相談の件数 延べ 353件

相談内容の 카테고리別内訳



相談者国籍別内訳

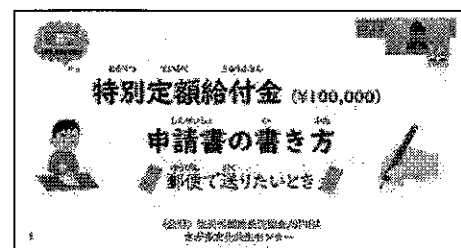


専門家相談

生活相談の中で専門家による対応が必要と判断される案件は関連機関と協力し、相談を実施しました。2020年度は弁護士に5件、行政書士に7件、佐賀県しごと相談室に15件、その他の専門家に5件ご対応いただきました。

新型コロナウイルス感染症関連の在住外国人支援

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在住外国人支援として、特別定額給付金の申請書の書き方について説明した動画をやさしい日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語の5言語で作成しました。また、県内に住む外国人向けに様々な言語での応援メッセージ動画で配信するSPIRA SMILE プロジェクト（スパイスプロジェクト）を実施しました。県内外国人住民に制作にご協力をいただき、19言語24本の動画を公開しました。



賛助会員

賛助会員募集

当協会では、県民総参加の「多文化共生の地域づくりの推進」のために、賛助会員制度を設けております。地域の国際化・国際交流、多文化共生の進展に向けて、広く賛助会員としての参画をお願いします。

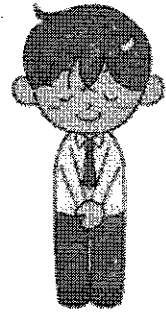
当協会の趣旨に賛同し、協会の運営活動に協力していただける個人・団体・企業・機関等

賛助会員の区分と年会費

個人会員	年会費 1 口	3,000 円
団体会員 (団体・企業・機関等)	年会費 1 口	10,000 円

会員の福利

協会発行の国際交流・協力情報誌「HELLO SAGA」(年 4 回発行)
民族衣装の無料貸出



賛助会員 (個人39名、団体28団体) (2021年3月31日現在) (団体名については50音順・敬称略)

オイスカ佐賀県推進協議会	佐賀ユネスコ協会
株式会社 音成印刷	社会福祉法人 佐賀整肢学園
株式会社 翔和	滝登り実行委員会
株式会社 テクノ九州	特定非営利活動法人 地球市民の会
唐津ボランティアガイド	中原青腸科内科
公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団(アバンセ)	西九州大学
こんにちはワークSaga	西九州大学短期大学部
佐賀経友会事業共協同組合	にほんごすいもく 水ようび
佐賀県商工会連合会	にほんごすいもく 木ようび
佐賀県地域婦人連絡協議会	日本語ネットワーク佐賀
佐賀県日中友好協会	日本文化教育学院
佐賀広告センター	ヒーリングファミリー財団
佐賀中国交流倶楽部	モードサプライ協同組合
佐賀・ノルウェー友好協会事務局	ラボ国際交流地域会 (公益財団法人ラボ国際交流センター)

公益財団法人 佐賀県国際交流協会 2020年度 年報

発行 公益財団法人 佐賀県国際交流協会 発行日 2021年 5月20日
〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2-1-12 佐賀商エビル1階 佐賀県国際交流プラザ内
TEL : 0952-25-7921 FAX : 0952-26-2055 E-mail : info@spira.or.jp

